

令和元年度学校評価

幼稚園型認定こども園

学校法人ひまわり子ども学園

牧港ひまわり幼稚園

○保育の計画性

本園の教育理念、教育方針を理解し、法規に則って教育課程や指導計画を作成し、環境を構成して子ども達が伸び伸びと活動出来るよう計画作成されている。

○保育の有り方、幼児の対応

健康と安全への配慮、幼児の見取りと理解、指導との関わり、全職員で検討し共通理解の上、対処できる体制をみる。

保育にあたってはまず安全面を第一とし、事故発生時の対応の在り方、危険個所の確認、毎日の安全点検で改善を行いながら取り組んでいる。

子ども達への対応は個々一人一人を大切に保護者と共に子育てを意識しながら全職員のチームワークの下取り組んでいる。

○教師としての資質や能力、良識、適性

専門家としての能力、良識、義務と組織の一員としての有り方、保育者としての意識を高く持ち、保育の楽しみ、喜び、周りを感じ取れる感性をみる。

教職員は「プロ」として常に自分を高めていくことの意識を持って保育にあたっている。

研修会は進んで参加し力をつけている。その成果が日常の保育や行事に現れている。

保育に従事できるという大切な仕事を幼稚園という場で出来る幼稚園教諭は誇りであり保護者の子育てを手伝うことができる事は、子どもの成長を確認した時の喜びと同じである。子ども達と職員の笑顔にそれを見る。

○保護者への対応。 (情報の発信と受信と協力、支援とクレームの対処の仕方を見る)

保護者への対応は子どもを良く理解し、教職員全体で共通理解の下で対処できる体制が整っている。方法として(報告、連絡、相談)

○地域の自然や社会との関わり(地域の人との関わり、小学校との連携を見る)

- ・ 幼稚園の所在する地域との関わりは少ない。(進学する小学校が複数の為)
- ・ 小学校との連携は進学する小学校と連絡を取るようになっている。
- ・ 地域小学校の行事や生活に関心を持たせ、卒園した子ども達の情報を得るようになっている。

○研修と研究

- ・ 職員は研修や研究会には喜んで参加し、自己を高める事に努力が見られる。
- ・ 園内研修では伝統文化(和太鼓、空手)等、自主研修し子ども達と楽しく取り組んでいる姿が見られる。

○安全管理

消防職員と共に通報、避難、誘導案内の訓練を受け、全てにおいて避難訓練がスムーズにできるようになっている。

「課題」

①幼児の個々の成長を促すような環境作り徹底を図り、基本的生活習慣の定着及び道德性の芽生えを引き続き行うことが課題である。

②社会の変化の中で幼児の問題への取り組みについて(対応策)

様々な変動の中で幼児にとって何が問題であるか話し合い、問題に対してどのような教育を行わなければならないかについて研修会等を通して専門の先生と学習している。

●平成30年度の学校評価をふまえ改善を図った取り組み

幼児一人一人が幼稚園生活の中で主体的に環境に関わり直接的、具体的な体験を通して「生きる力」の基礎となる「心情・意欲・態度」を身につける事によって「豊かな子に育む」を目標にしている。

話を聞く姿勢や自分で考えて行動する力は年長組は身につけてきている。

年中、年少組については不十分であることから、基本的生活習慣の定着と道德性の芽生え等、保護者との連携を密にして引き続き取り組んでいきたい。